

令和5年度中小企業組合等課題対応支援事業
(中小企業組合等活路開拓事業)
ワーキング委員会A(第1回)

——【ワーキング委員会A_会議資料】

テーマ 『交換から修理の推進による廃棄量の低減』

- ①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について
- ②アンケート結果の報告
- ③専門家委員からのヒアリング
(アンケート結果の感想、現状認識、テーマ実現に向けた提言など)
- ④テーマ実現に向けたアクションプランの検討
- ⑤第2回ワーキング委員会Aの開催について

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業テーマ

「日車協連SDGs宣言」を通じ、持続可能な車社会を支える業界団体を目指す



①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業目的および概要

自動車車体整備を通じて社会的要請に応え、持続可能な車社会の実現に寄与することを目的に、次の4つのミッションを掲げて取り組む。

- 1.交換から修理の推進による廃棄量の低減
- 2.廃棄物のリサイクルを推進
- 3.各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業
- 4.次世代自動車に対応した整備体制の構築

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会A

テーマ：「交換から修理の推進による廃棄量の低減」

内容：テーマに基づき、廃棄量の低減につながる有効な修理技法を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本技能研修機構、日本自動車車体補修協会

ワーキング委員会B

テーマ：「廃棄物のリサイクルの推進」

内容：テーマに基づき、自動車リサイクル法の適正運用とリサイクルパーツの利用促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本自動車リサイクル部品協議会加盟3グループ

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会C

テーマ：「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」

内容：テーマに基づき、水性塗料ならびに特化則非該当製品の普及促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日車協連賛助会員である自動車補修塗料メーカー6社

ワーキング委員会D

テーマ：「次世代自動車に対応した整備体制の構築」

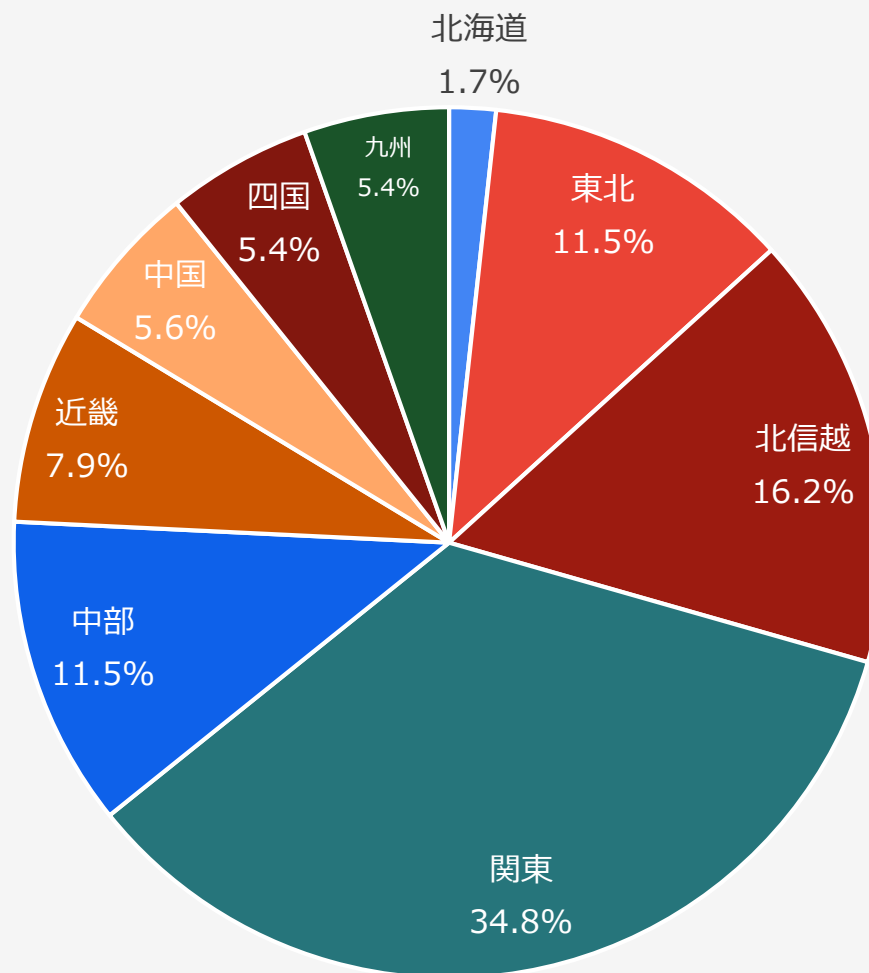
内容：テーマに基づき、ASVの整備情報ならびにEV等の整備体制の構築など次世代自動車の整備体制を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：钣金塗装作業を内製するメーカー系ディーラーおよび関連会社3社

②アンケート結果の報告

調査期間：令和5年10月2日～10月16日
 対象：日車協連組合員
 有効回答数：520件

地域別回答数の内訳



↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (裏面の送信も忘れずに)

「日車協連 SDGs 宣言」作成に伴うアンケート調査

日車協連では今年、中小企業総合振興財団支援事業(中小企業総合活動推進事業)の助成を受け、「日車協連SDGs宣言」の作成を進めています。
 「交換から修理の推進による廃棄物の削減」「廃棄物のリサイクルを推進」「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」「次世代自動車に対応した整備体制の構築」の4つのミッションを掲げて本報記事に取り組み、SDGs宣言を作成するに当たり、車体整備業界の現状把握を目的としたアンケート調査を実施しています。
 つまましては、下記質問をよく読み、お答えの欄に記入してください。または数字等を記入して、FAX送信くださるよう、お願いいたします。スマートフォンまたはタブレットでの回答も受け付けています。右記QRコードを読み取り、ご回答ください。
 調査期間は10月16日(月)までです。アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

スマートフォンまたはタブレットでの回答はこちら

所属する車種	TEL
事業所名	

Q1 所有する工場はありますか？【複数回答可】
 分解修理部、電子制御部、車体整備部、特定整備部(分解・電子)、塗装部、塗装部、部分専門部、先進安全自動車対応、優良車体整備事業、自動車整備工場、優良自動車整備工場、自動車リサイクル施設整備事業、フロン回収施設整備事業

Q2 所有する個人資格はありますか？【複数回答可】 また分かつる欄で有資格者数を記入してください
 車体整備士(人)、1級整備士(人)、2級整備士(人)、3級整備士(人)、特定整備作業主任者(人)、自動車検査員(人)、企業技術士(級)(人)、打抜き企業技術士(級)(人)、電気工事師(電気種別)特別教育(人)

Q3 月間の新車販売高に占める部品代のおよそ割合は？
 (※:新車部品代は550万円～新車販売高は1,000万円～55%)
 部品代の割合▶____%

Q4 部品代に対して何%の修理工費がもたらえるならば、交換ではなく修理を選択しますか？
 (※:部品代が10万円、5万円の場合は修理工費がもたらえる割合は50%の割合で回答してください)
 修理する割合▶____%

Q5 ヘッドライトステーの取付け難易度は？
 0~10%(はたAsya等)、11~49%(Asya等)、50~89%(Asya等)、90~100%(はたAsya等)

Q6 ヘッドライトステーの取付け難易度は？
 0~10%(はたAsya等)、11~49%(Asya等)、50~89%(Asya等)、90~100%(はたAsya等)

裏面へつづく

↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (裏面の送信も忘れずに)

Q7 月間の産業廃棄物処理費用はいくらかですか？ また、ここ数年の上昇割合は？
 (※:3万円が2万円に減った場合は15%)
 処理費用▶約____万円
 ここ数年の上昇割合▶約____%

Q8 取引する産業廃棄物処理業者の数は？ また、マニフェストの交付について該当する回答に○を付けてください
 取引社数▶____社
 マニフェストの交付▶複数交付している、一部交付している、交付していない

Q9 取引するリサイクルパーツ販売業者の数は？ また、月間の部品仕入れ高に占めるリサイクルパーツの割合は？
 (※:月間リサイクルパーツ仕入れ高50万円～月間部品仕入れ高500万円～10%)
 取引社数▶____社
 リサイクルパーツ使用割合▶____%

Q10 主に使用している塗料の情報は？ 【分かつる欄で】 内にメーカー名とブランド名を記入してください。
 ベースコート▶____系、____色、____色
 クリヤー▶____系、____色、____色
 プラフ▶____系、____色、____色、____色
 PA▶____系、____色、____色、____色

Q11 入庫台数に占めるエイミング作業が必要な車両とEV(PHEV含む)の割合は？
 エイミング作業が必要な車両▶0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%
 EV(PHEV含む)▶0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%

Q12 エイミング作業はどのように対応していますか？
 すべて外注、半分以上を外注、外注と内製が半々、半分以上が内製、すべて内製

Q13 エイミング作業はどこに外注していますか？【複数回答可】
 ディーラー、整備工場、同業者(新車塗装工場)、中古車販売店、カー用品店、部品店、ガラス加工業者、電気整備業者、エイミング専門店

Q14 エイミング作業を外注した際の平均的な納期(依頼～納品までの期間)は何日ですか？
 平均____日

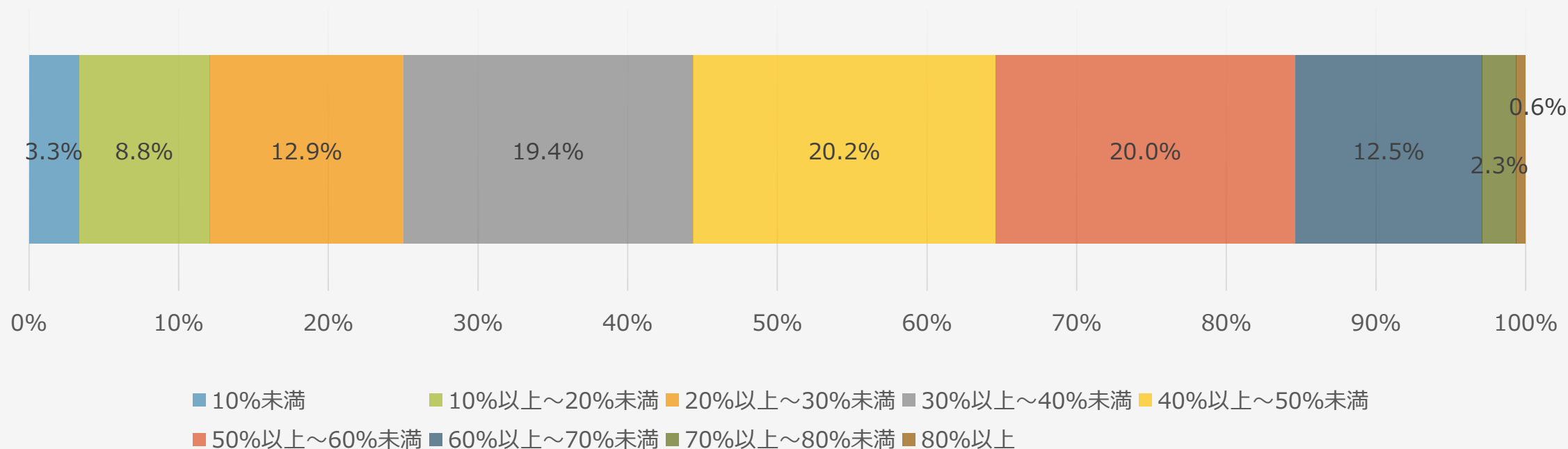
Q15 ASVを整備するための情報はどこから入手していますか？【複数回答可】
 FAINES、ディーラー、整備工場、同業者(新車塗装工場)、機械工具店、塗料販売店、業界団体(車検など)、新聞・雑誌(BSRなど)、SNS(Facebookなど)、動画サイト(YouTubeなど)

Q16 日車協連の活動に対する意見や要望などがございましたら記入ください
 { }

ご回答いただき、誠にありがとうございます。
 今後とも、日車協連の運営にご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。
 ※アンケートは、令和5年度中小企業総合振興財団支援事業(中小企業総合活動推進事業)の助成を受けて作成しています。

②アンケート結果の報告

月間の钣金塗装売上高に占める部品代のおよその割合は？（％）

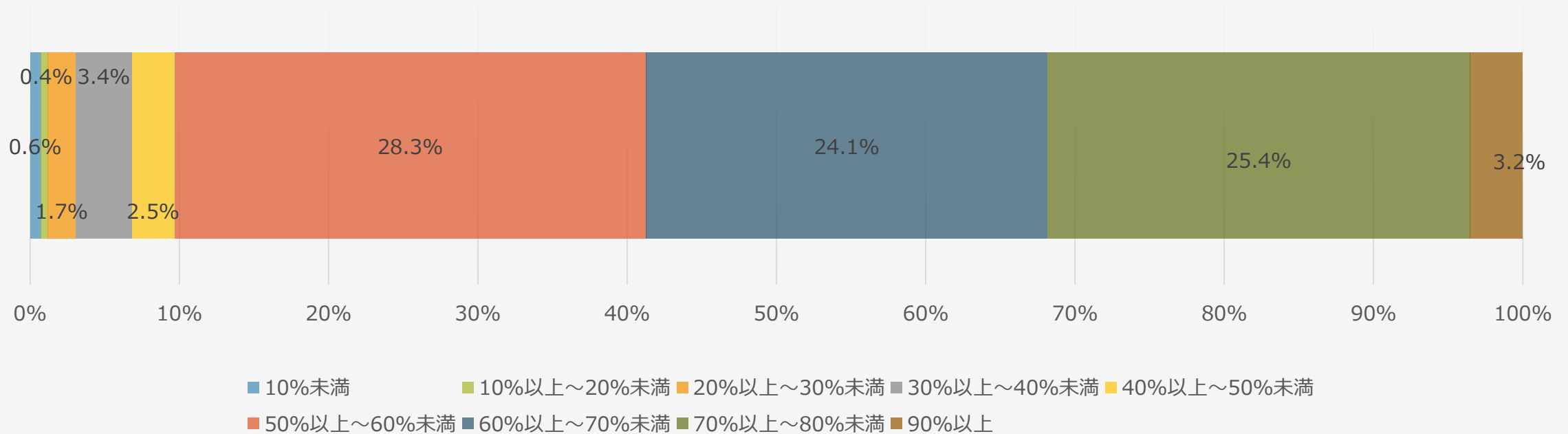


本アンケートにおいて平均は38.58%で、中央値は40%強だった。元請け先から部品供給されるために、部品代売り上げが少ない事業場が平均値を若干押し下げたと推測される。

損害保険料率算出機構の「自動車保険の概況」では、工賃と部品代の比率において部品代のほうが上回っているが、本アンケートでは工賃6：部品代4の結果となった。それぞれの事業規模や事業形態が異なるため一概には言えないが、部品価格がますますの高騰を続ける中で、いかに工賃売り上げを確保できるかが課題に挙がる。

②アンケート結果の報告

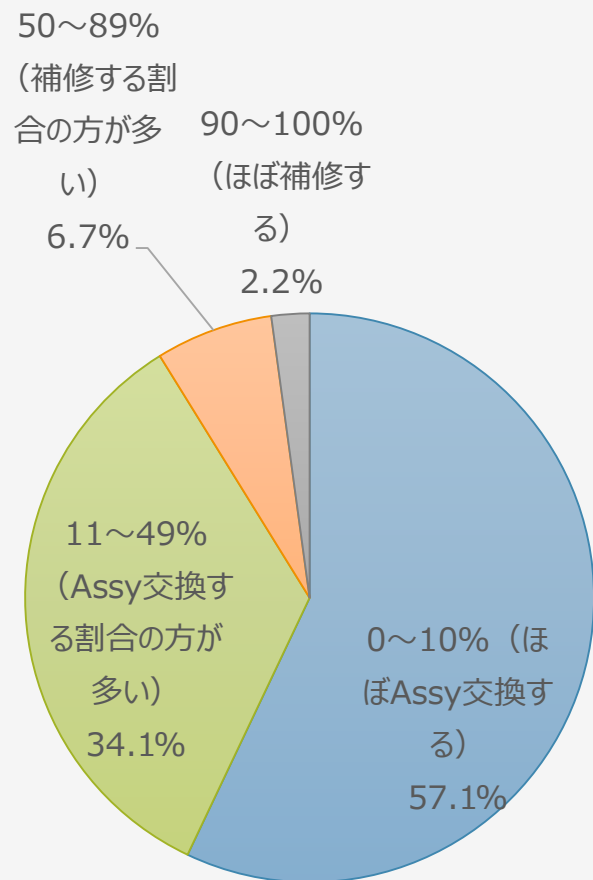
新品部品代に対して何%の修理工賃がもらえるならば、交換ではなく修理を選択しますか？（%）



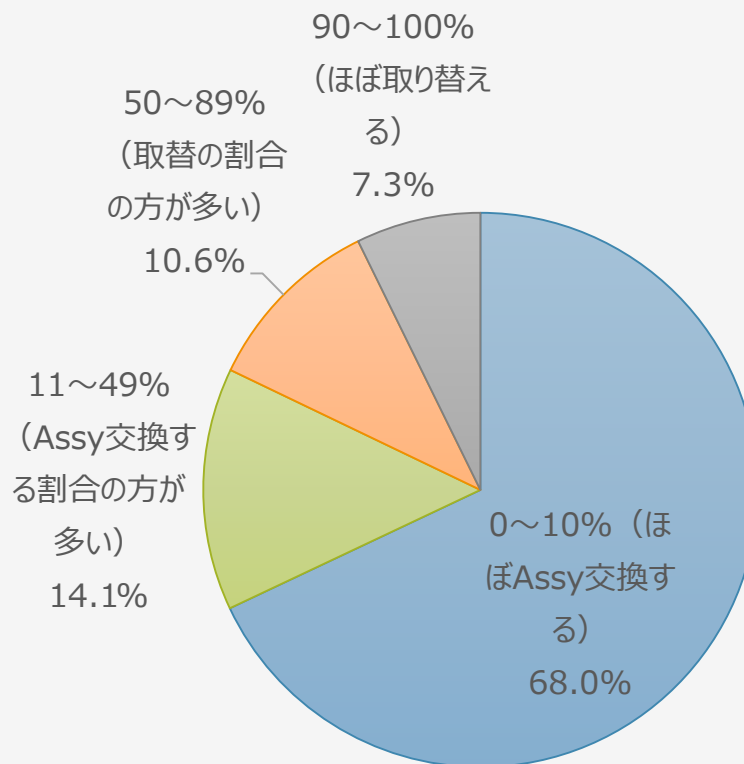
本アンケートにおいて平均は60.66%で、ボリュームゾーンは50～80%の間だった。部品の指定がなかったことから回答者がそれぞれ思い浮かべた車種・部品、1時間当たりの工賃単価の違いなどで約30%の幅が出たと推測されるが、おおむね部品代の半分以上の工賃売り上げを計上できることが交換か、修理かの判断材料の一つの目安となる。

②アンケート結果の報告

ヘッドライトステーの折れの補修割合は？



ヘッドライトレンズのみの補給部品がある場合、レンズのみを取替する割合は？



ヘッドライトステーの折れの補修では、Assy交換9：補修1の割合であることが分かった。

補給部品がある前提のもと、ヘッドライトレンズのみの取替ではAssy交換8：取替2の割合となり、ステーの補修よりも交換比率が少なかった。

ヘッドライトの高額化が進んでいる中で、SDGsの観点から修理費用を圧縮しつつも自社の工賃を増やす有効な手段であることに間違いはない。

③ 専門家委員からのヒアリング

- 工賃：部品代の比率において、「自動車保険の概況」より工賃比率が高くなった結果について
- 新品部品代の6割の工賃計上が取替・修理の判断基準となる結果について
(例：新品ドアパネルが10万円する場合、6万円の修理工賃が計上できれば取替ではなく修理を選択する)
- ヘッドライトステーの折れの補修とヘッドライトレンズのみの取替を行う工場が少ない要因には何が考えられるか？
- ヘッドライトの高額化を受け、ステーの折れの補修ならびにレンズのみの取替はSDGsの観点から有効な手段となり得るか？
- テーマの実現に向け、日車協連は何に取り組むべきと考えるか



テーマ実現に向けた具体的なアクションプランへの落とし込み